

この段階のものとみてよい。さらに、ナイフ形石器S94～S97(第95図)の4点も、石材の模様や色調と剥離面構成等から、この段階の生産物を素材にしたものと考えられる。

段階2の最後には、C面を作業面に選ぶ。B面とE面の角度が大きく開いたことと、E面の作業面が平坦化して石刃を導きうる稜線がなくなったことで、E面からの剥離が困難になったためと考えられる。CE角を一新して新たな稜線を形成しようとしたようであるが、横形剥片が2枚取れただけで目的に達せず、なおも執拗な打撃を加えたため、石核縁部を反転事故の連鎖により潰してしまい、C面での作業を不可能にしてしまう。この接合資料で唯一の大きな失策である。碎片S72はこの際のものである。

**段階3**(第91図) ここまでの経過を受けて、B面とE面の接する部分には、1本の良好な稜線が結果的に形成されていた。これを1枚目の石刃の導稜に利用して、石刃を連続剥離するように計画を変更する。打面としてはD側を選ぶが、段階1の結果、この部分は大きくA側に傾斜しているため、実際にはA面を叩いていることになる。作業の後半に打点を大きく左右に振って収斂的に作業面を用いることと相まって、全体の印象は、あたかもルヴァロワ手法であるかのようである。しかしこれは、作業結果が連鎖して累積した見かけ上のものに過ぎないことが、作業経過の読み取りから理解される。

まず作業面中央の稜線付近を中心に、2～3枚のやや短めの石刃を剥離する。続く3～4枚の剥離時に反転事故の連鎖が発生し、作業面上に段差を残す。通常であれば、段階2で行ったように、C面を副打面として、反対方向から剥片を剥いで段差を除去するのが効果的であるが、C面の縁は段階2の最後に潰してしまっているため、叩くことができない。そこで、E面を叩いて稜上調整を行う。除去できた段差は部分的であるものの、稜線の末端部に適切なカーブを形成できたことにより、次に取った石刃S78+S79は長く良好なものになっている。残念ながら、剥離時に打面部が折れてしまっているが、それでも、本体S79は剥離の座から離れて、ナイフ形石器が集中する付近で回収されているので、十分有用とみなされたのであろう。

次に、打点を右方向に振って、B面側で石刃の剥離が試みられる。しかし、打面付近が素材の粗粒部分にあたってしまったこともあり、薄くて不整形なものばかりで(S80・S81)、4枚を打っただけで放棄される。

最後に、打点を左方向に振って、石刃を連続剥離する。段階2で作業面として機能した部分に段階3の稜線が加わったことで、3枚の石刃が順調に剥離される。なお、これまでは石刃の剥離に先立って、時々簡易な打面調整が加えられる程度であったが、この後の作業では、状況に応じて、打面調整と部分的な打面形成や、丁寧な頭部調整が介在している。それにもかかわらず、また、反転連鎖を起こさないように剥離軸を慎重に左側にずらしてゆくものにもかかわらず、3枚続けて反転事故を起こしてしまい(S84～S86)、この段階の作業は終了する。

割り手の要所々々における見通しと処置は適切で、高い技量を窺わせる。作業終盤の失敗は、むしろ、小さくなった石核を完全に静止させて保持することの困難さと、比較的硬い石材である玉髓を打撃する力加減の問題が、複合したことに起因するのであろう。

ナイフ形石器S98の素材は、小ささや薄さと石材の模様等から、この段階の石刃と思われる。

**段階4**(第92図) この時点で、A面のD側半分は、段階1の作業面や段階3の打面として用いられたものの目立った悪状況はなく、C側半分は礫面に覆われたままの状態である。そこで、A面を作業面に利用する。

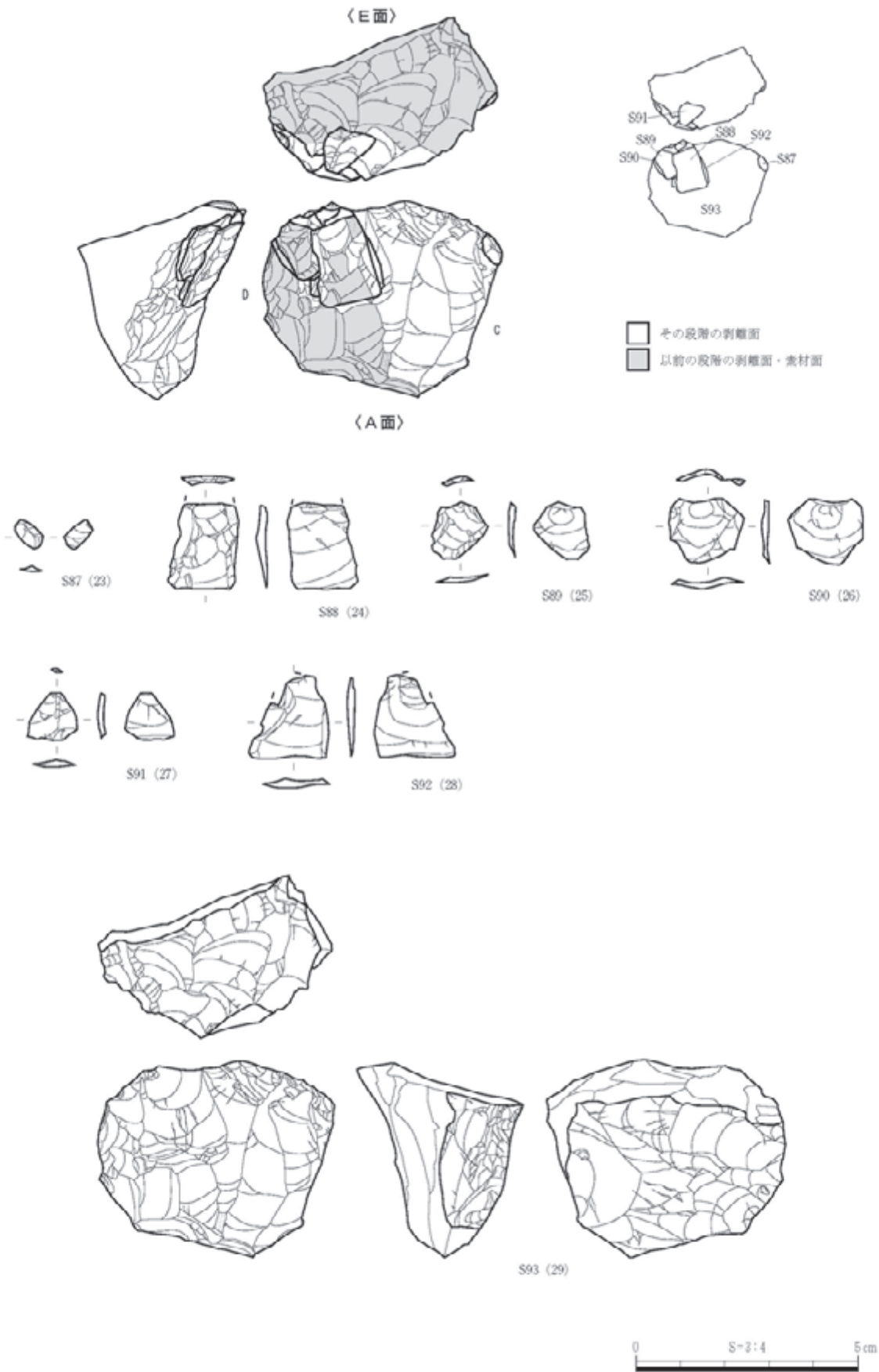
まず、段階3の終盤とは打面と作業面を入れ替えて、E面に打点を選び、礫面が残っている部分から、背面の大半が礫面で覆われる石刃を3枚並んで取る。続いて、これらによって形成された稜線を狙って、石刃の剥離を試みる。しかし、チップングを繰り返すのみで、結局、A面の半分にあたる部分の打面縁部を潰してしまい、作業の継続は困難になる。

最後に、唯一可能性が残っているA面のD側半分を作業面として、打面調整を施しながら、石刃を狙った打撃を与える。5枚の剥片が取られているが、どれも薄くて、末端が反転してしまい、有用な石刃は生産できない(S88～S90、S92)。ここですべての作業は終了となる。ところで、最後の作業面として選ばれたのが段階1の最初の剥片の剥離痕であることは、剥片剥離作業の実際の経過の複雑さと、接合資料の雄弁さを物語って余りある。

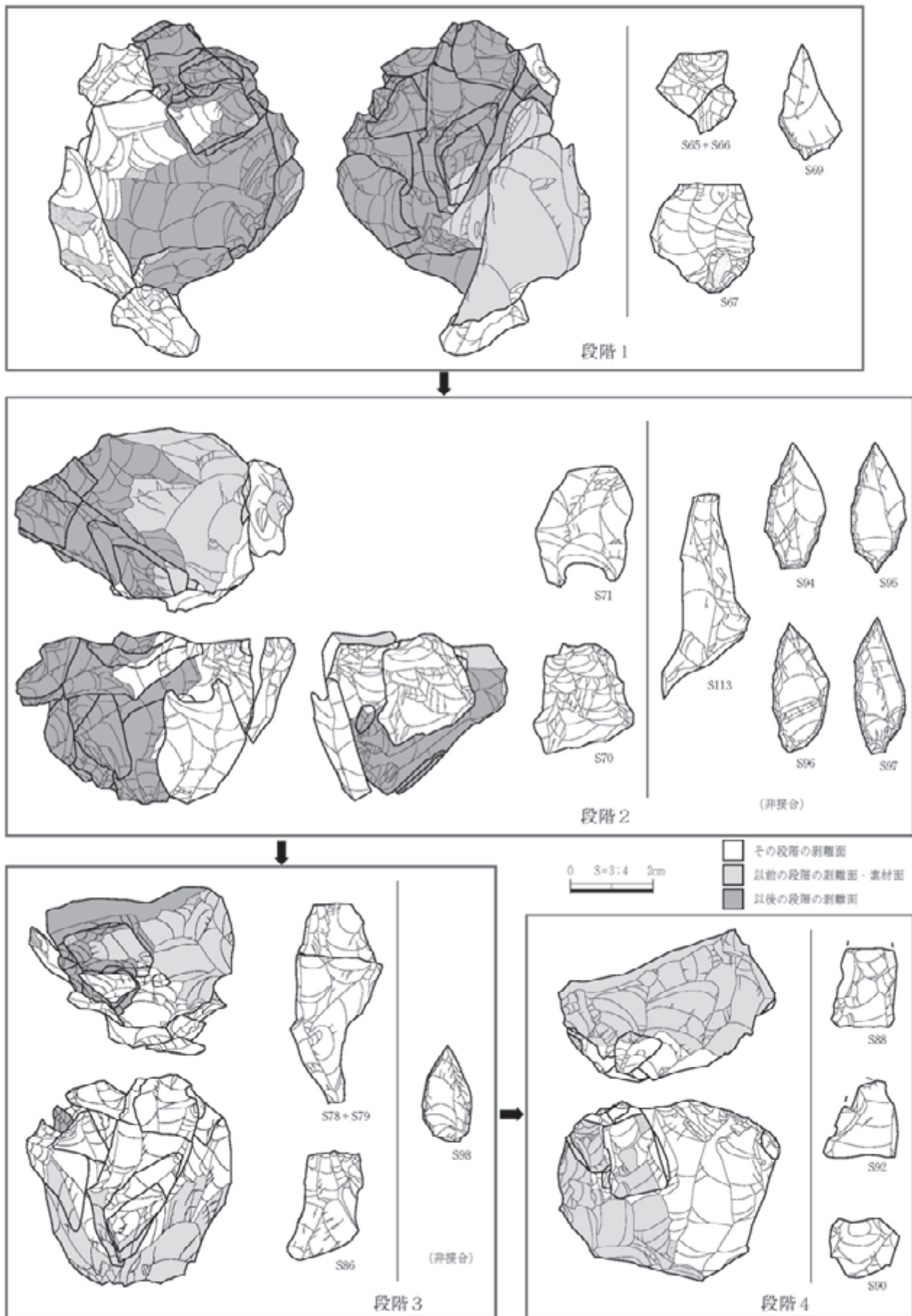
石核S93は、剥離の座から離れて、ナイフ形石器が集中する範囲の中に置かれていた。これは、この石核が、まだ利用可能なものとして、一旦は旅装に加えるべく手に取られたことを意味しているだろう。実際、この割り手は、段階2の最後を除いては、さまざまな局面における止め時の判断が適切で、したがって、石核は決定的には損なわれていない。工夫をすれば、なお数枚の石刃を剥ぐ容量は残されていると思われる。それにもかかわらず、石核が最終的に遺棄されているのは、期待される生産性と石核の重量や体積を秤にかけた上でのことかもしれない。

この母岩から生産された有用な生産物の数は、接合資料の空隙から見積もると、石刃約20枚、剥片約10枚である。石刃のうち5枚に、非接合のナイフ形石器5点をあてると、遺跡外に持ち出されて使われた石刃は15枚程度ということになる。完成されたものの欠陥により遺棄されたナイフ形石器が6点もあることから、この石が割られた動機が、ナイフ形石器をできるだけ多く製作することにあったことは明白であり、15枚の石刃の多くはナイフ形石器として搬出された可能性が高い。握り拳ほどの小さな礫片を素材としたものとしては、かなり効率的で、割り手の非常な技量が窺われる。

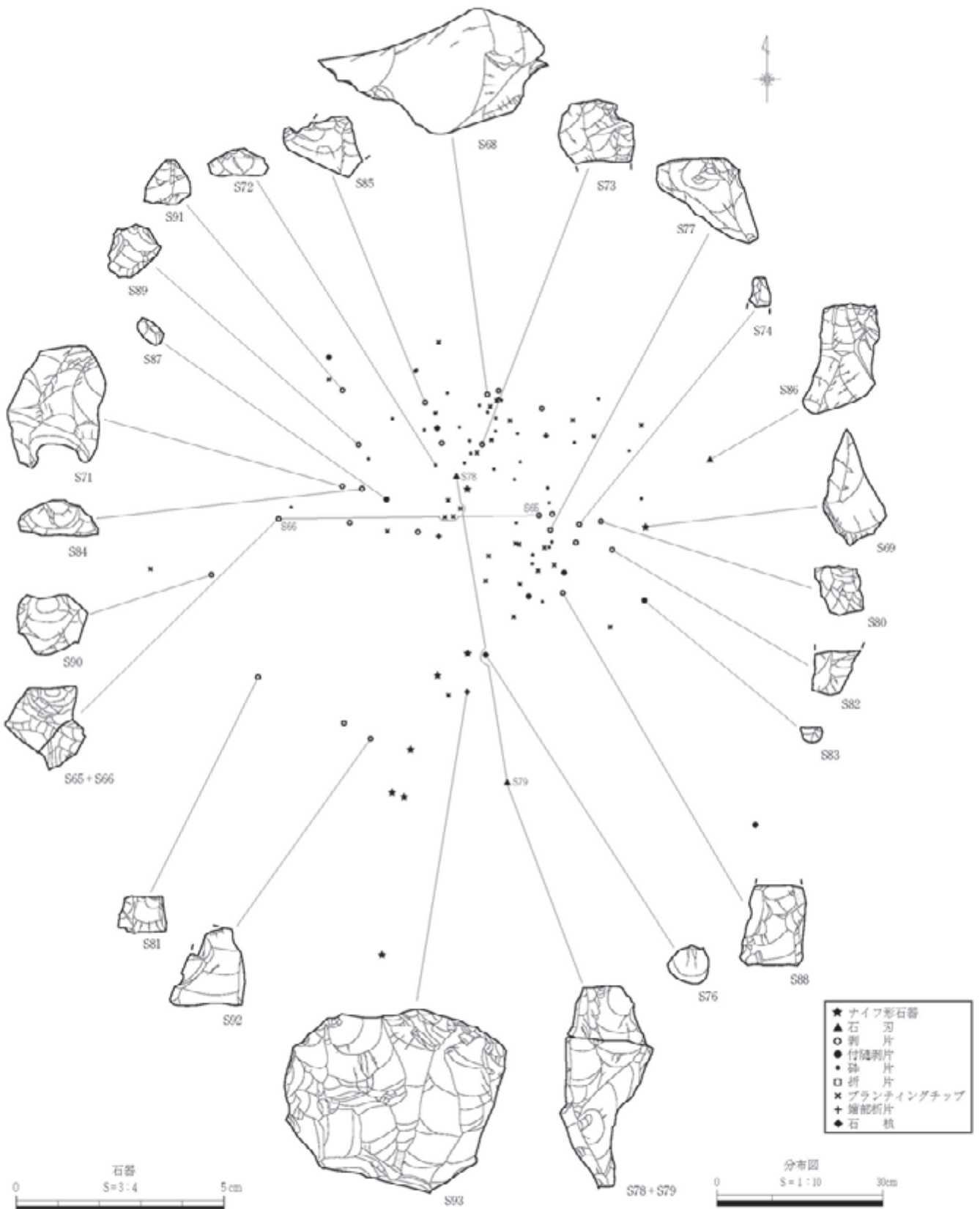
接合資料を構成する遺物の分布状況を第94図に示す。S67とS70は、ブロック2の周辺部に移動しているためこの図からは漏れている。段階1と2の剥離物(S65～S72)は座1の内外に目立つ。段階3の剥離物(S73～S86)は、座2を中心に分布する。段階4の剥離物(S87～S92)は座1の西側に多い。



第92図 母岩4 段階4



第93図 母岩4の剥離過程



第94図 ブロック2石器分布状況(1)

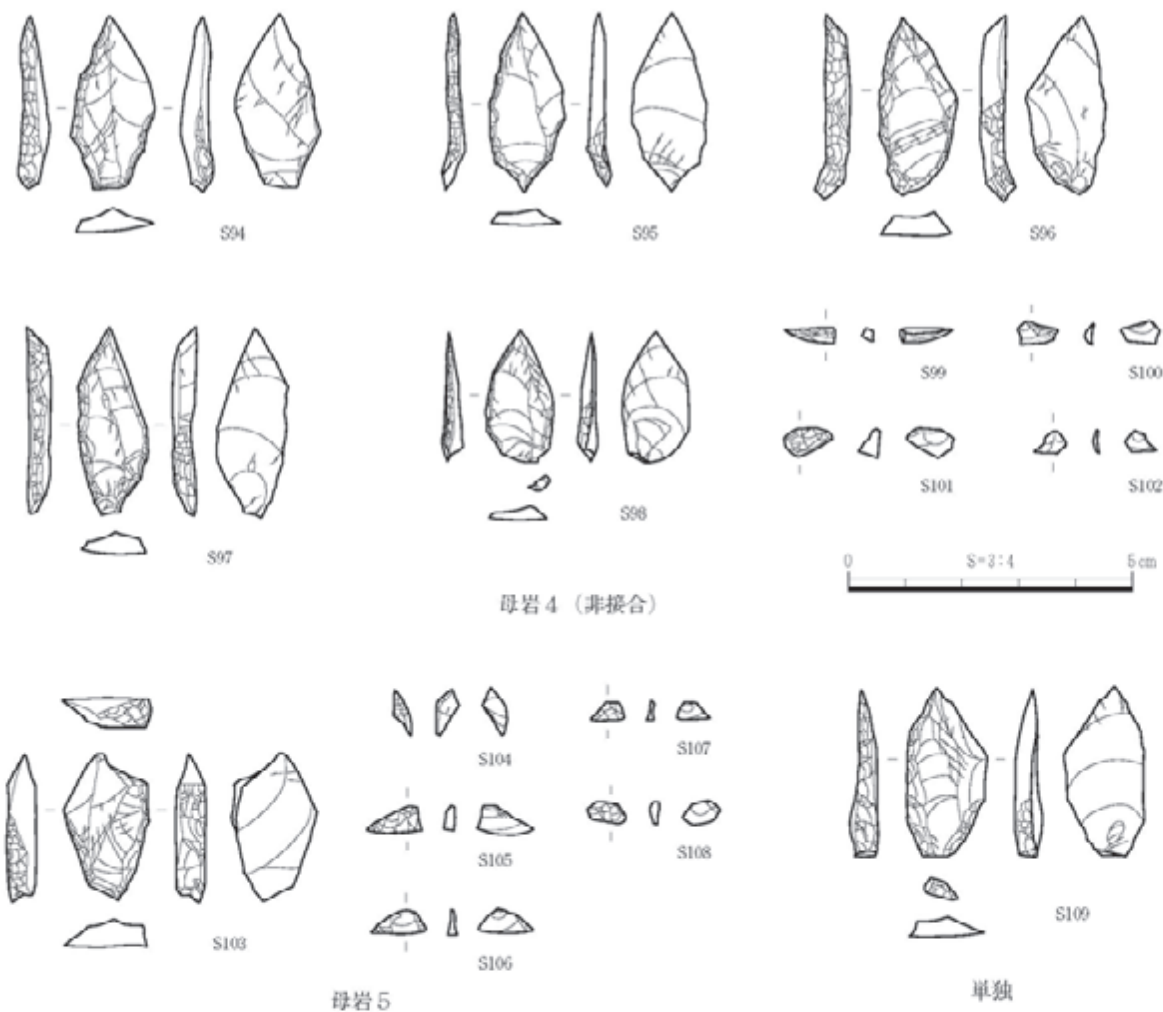
母岩4 非接合資料(第95図 巻頭図版1)

ナイフ形石器 母岩4に属するナイフ形石器は6点あり、うち1点(S69:第89図)は接合資料に含まれる。

非接合の5点は、いずれも2側縁加工で、右上半を刃縁とする。石刃を素材とする3点(S95・S97・S98)は、素材の打面側を基部に用いる。S98は素材が薄いため二次加工の程度が軽く、背部整形の角度も小さい。S94とS96は剥片と横形剥片を素材にするが、背面構成は石刃的である。二次加工はすべて主剥離面側からで、対向調整は認められない。基部を薄く調整するものはない。

母岩4のナイフ形石器には、いずれにも何らかの欠点が認められる。S94とS96は基部が厚く、S95は細い。S97は刃角が鈍く、S98とS69は薄い。製作されながらも遺棄された理由はこうした欠点にあると考えられる。6点のナイフ形石器の分布状況から、S94とS69は一次選別で落とされ、他の4点は最終選別まで残ったものと考えられる。

ナイフ形石器はすべて完形品で、欠損品や破片は存在しない。割り手の技術が二次加工においても非凡であることが窺える。

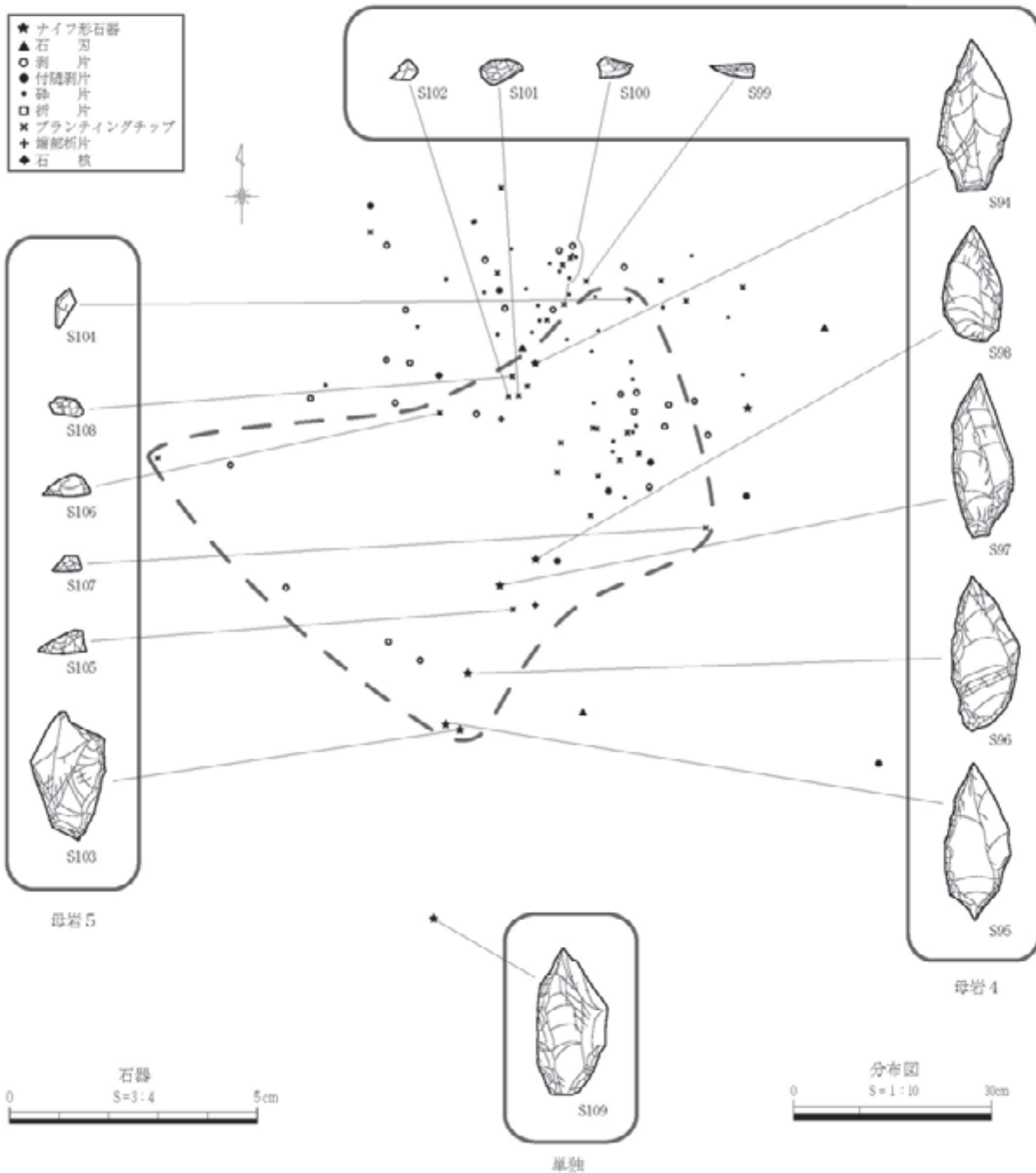


第95図 ナイフ形石器と二次加工片

二次加工片 二次加工片は22点が出土している。すべてプランティングチップで、端部折片はない。4点(S99～S102)を図示する。分布状況から、二次加工の作業は座1と座2の両方で行われていると考えられる。

母岩5

橙色で半透明な良質の玉髄で、1点のナイフ形石器(S103)と9点の二次加工片など10点で構成される。ナイフ形石器S103は先端が抉れ、素材の右側縁の変形度が高い。全体のバランスが悪いことから、先端と右側縁を再加工していると考えられる。S104は先端折片、S105からS108はプランティングチップ



第96図 ブロック2石器分布状況(2)

チップで、多くはS103の先端や背部を再形成する際に出たものであろう。

この母岩は、座1にも座2にも属さずに、ブロック内に広く散らばる。座1の南方に4点が集まるので、そこが本来の作業場所である可能性がある。

**単独資料**

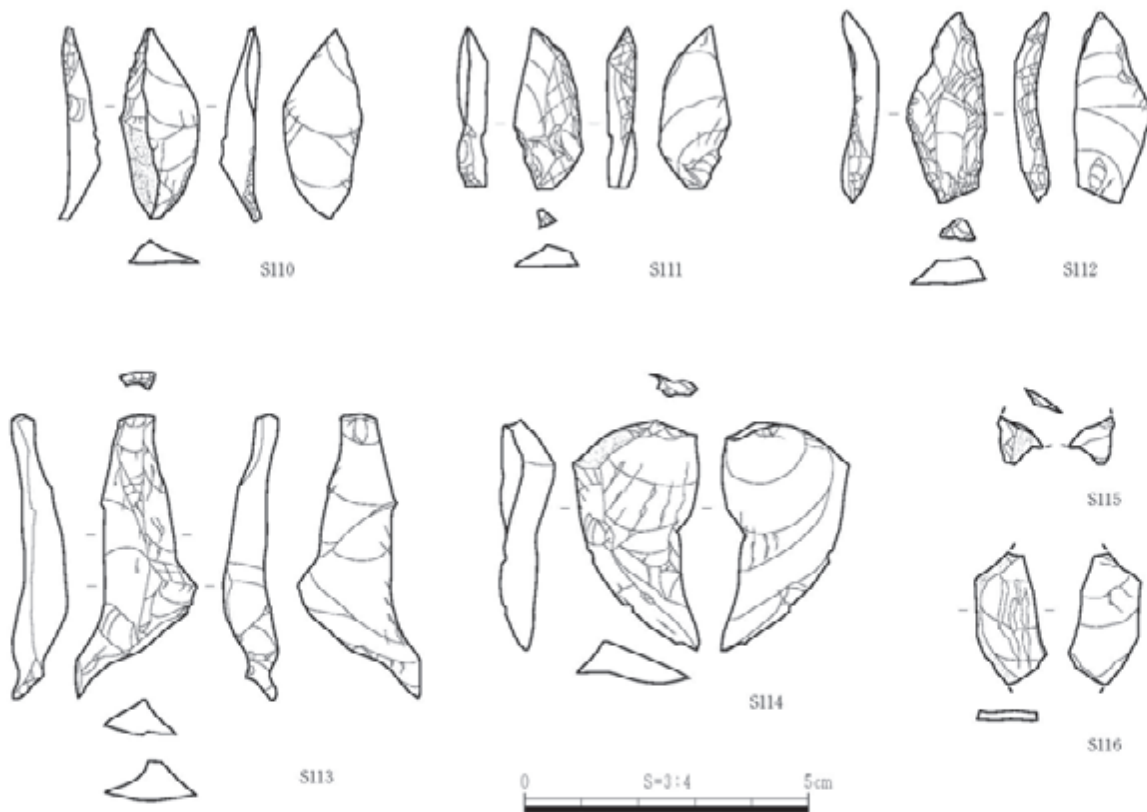
S109は暗赤褐色で均質な玉髓で作られたナイフ形石器である。本遺跡のどの石器とも異なる石材を用いており、単独で完成品として持ち込まれたものと考えられる。

**5 ブロック外の石器(第97図、PL.41・61)**

ブロック1及び2以外からも、白色ローム層上面付近からは、9点の石器が出土した。そのうちの6点は、両ブロックの周辺からの出土である(第98図)。

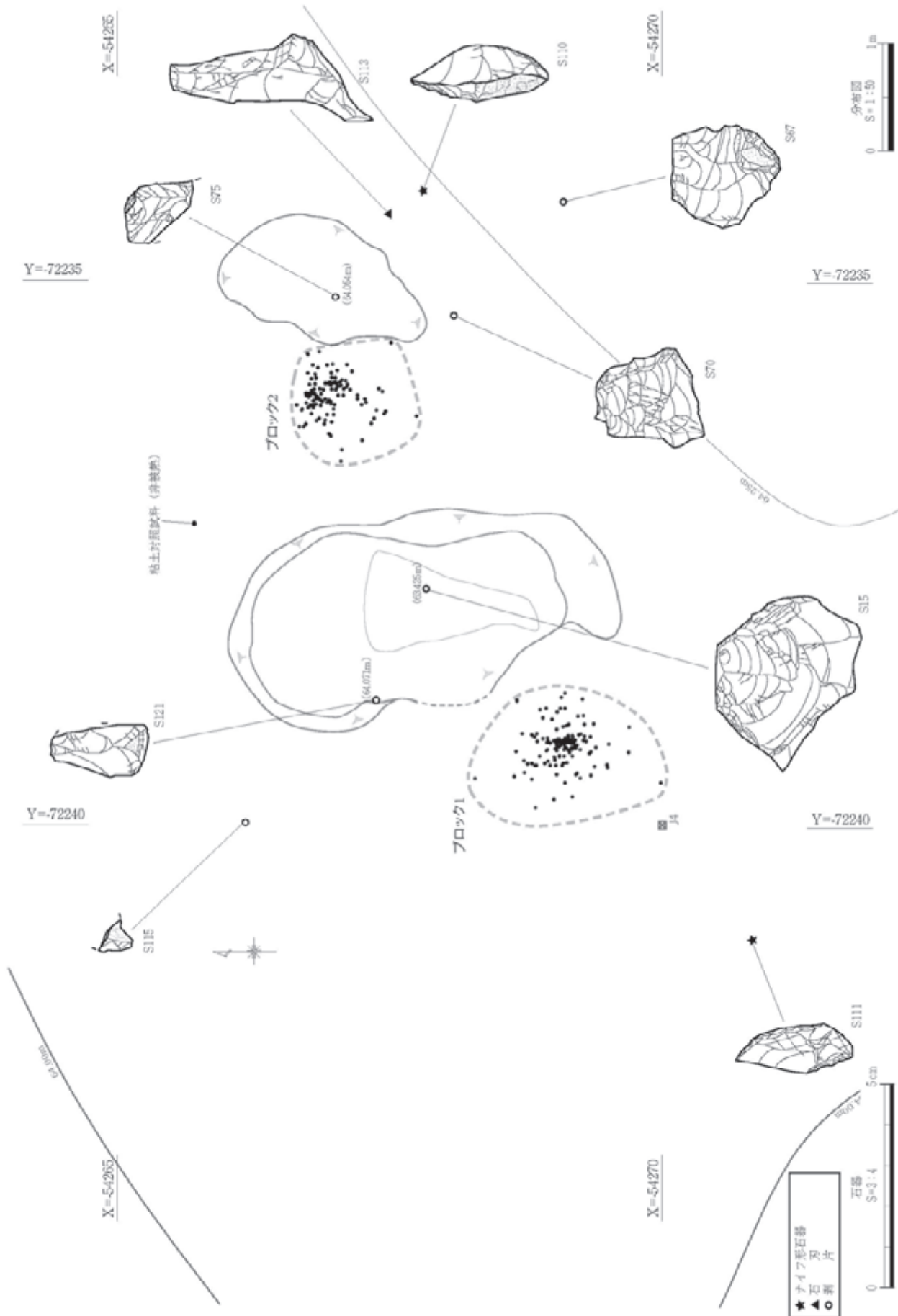
ブロック1の中心から約2.5m南西で、ナイフ形石器S111が出土した。どの母岩にも属さない単独資料で、完成した石器として搬入されたものと考えられる。ブロック1を遺した人物の持ち物であろうか。北方3mから出土した剥片の末端部S115は、ブロック1の3つの母岩とは異なる。偶発的に搬入されたものと考えられる。

ブロック2の剥離物集中から約1.5m南東には、1.5×1.1mの範囲に4点の石器が分布する。ナイフ形石器S110は単独資料で、素材を大きく変形せずに2側縁に部分的で軽度な調整を加えたもの。二次加工ある剥片S67・目的剥片S70と石刃S113の3点は、母岩4の段階1及び2で出た剥離物である。有用な生産物が散漫に分布することから、この範囲あるいは付近に、石器を使用する場があった

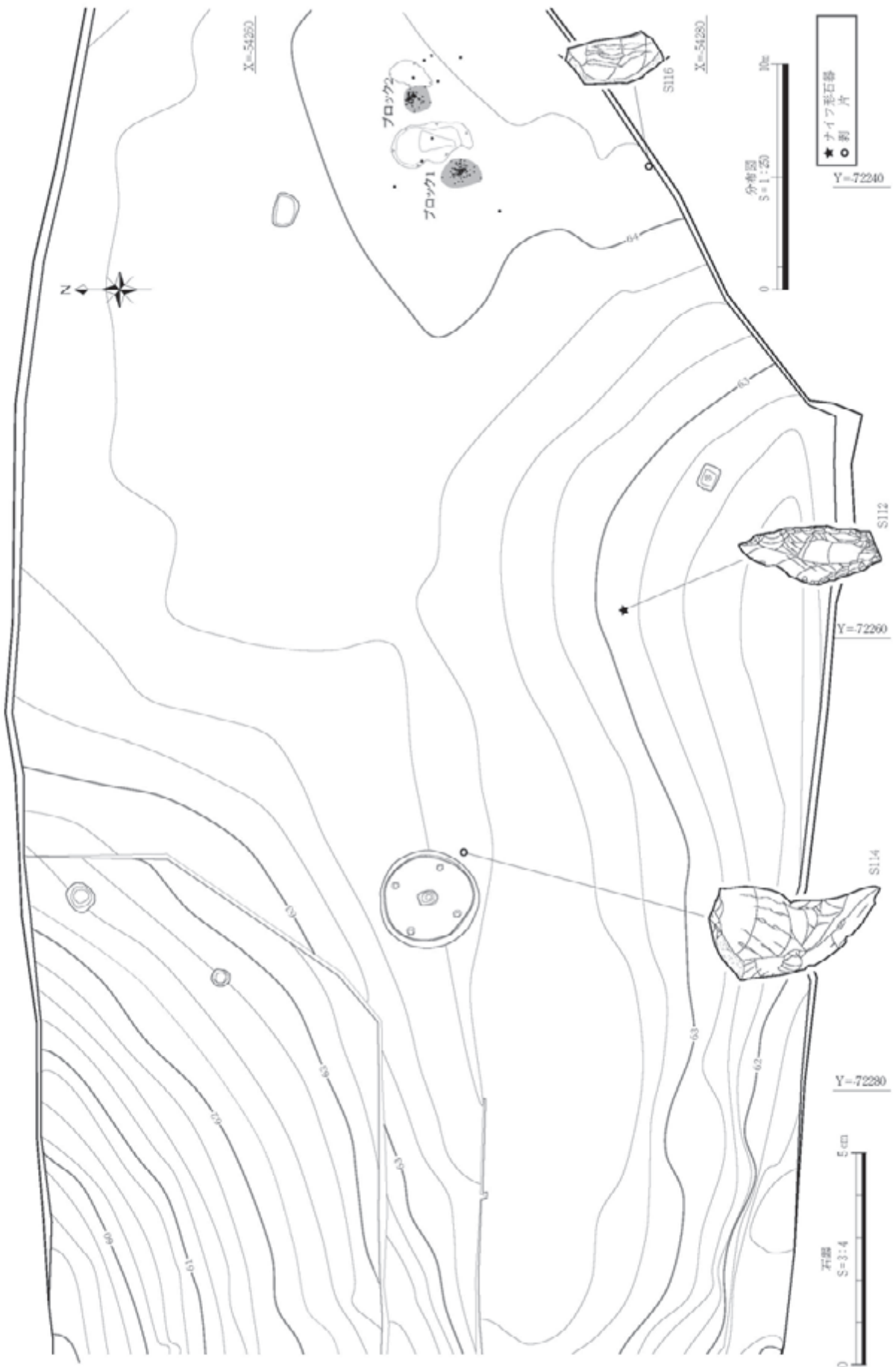


第97図 ブロック周辺及びブロック外出土石器





第98図 ブロック1・2と周辺出土石器



第99図 ブロック外石器分布状況

と推定される。

ブロックの付近にある風倒木痕から出土した剥離物も、接合関係をもつことから、ブロック外の石器と同列に扱ってよいであろう。調整剥片S75は母岩4の、剥片S15は母岩1の接合資料に含まれる。剥片S121は、風倒木痕の縁にかかった状態で検出されたことからすると、原位置を大きくは動いていないようである。

ブロックから離れた場所で、原位置を保って単独で出土した遺物は3点ある(第99図)。

単独で出土した石器の中で、最も重要なものは、ナイフ形石器S112である。ブロック1の西南西約20mの斜面部で、白色ローム層上面付近から検出された。石材は黒曜石で、原産地は肉眼観察では隠岐島の久見とみられる。石刃を素材に、打面部を基部側に用いて2側縁加工を施す特徴は、他のナイフ形石器の多くと共通する。刃縁が著しく痛んでいることから、繰り返し使用されたか、長い期間持ち運ばれたものと推定される。ほぼすべての遺物が玉髄からなる本遺跡を遺した人々が、隠岐へも往来していたことを証明するものである。

ブロック1の南方約8mからは、安山岩の剥片S116が出土した。ハンマーから出たかけらのようでもあるが、石器石材としては質が悪く、人工品とするには疑問が残る。

玉髄製剥片S114は、ブロックがのる尾根から分かれて西方にのびる支尾根上から出土した。ブロック1及び2の平均的な剥片と比較すると格段に大きく、母岩も異なる。南方の斜面部では、後世の包含層などから5点の石器が出土しており、多くは本来同一グループ(ブロック3か)に属していた可能性が高い。剥片S114が白色ローム層上面付近から出土したことから考えると、ブロック1・2と同時期のものとしてよいであろう。

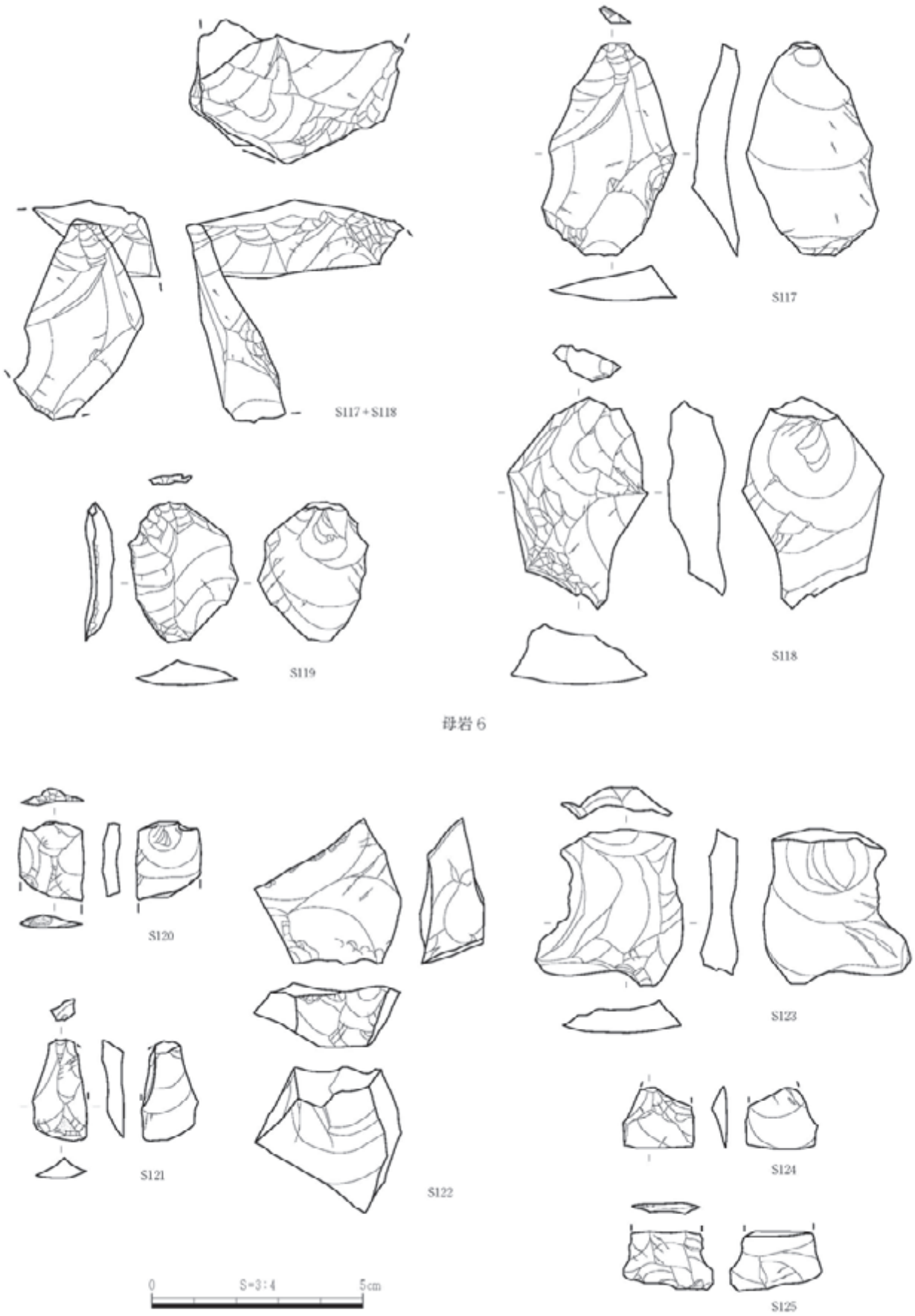
## 6 後世の包含層等から出土した石器(第100図、PL.62)

後世の包含層や根穴などからは、旧石器の可能性のある石器が8点出土している(第101図)。

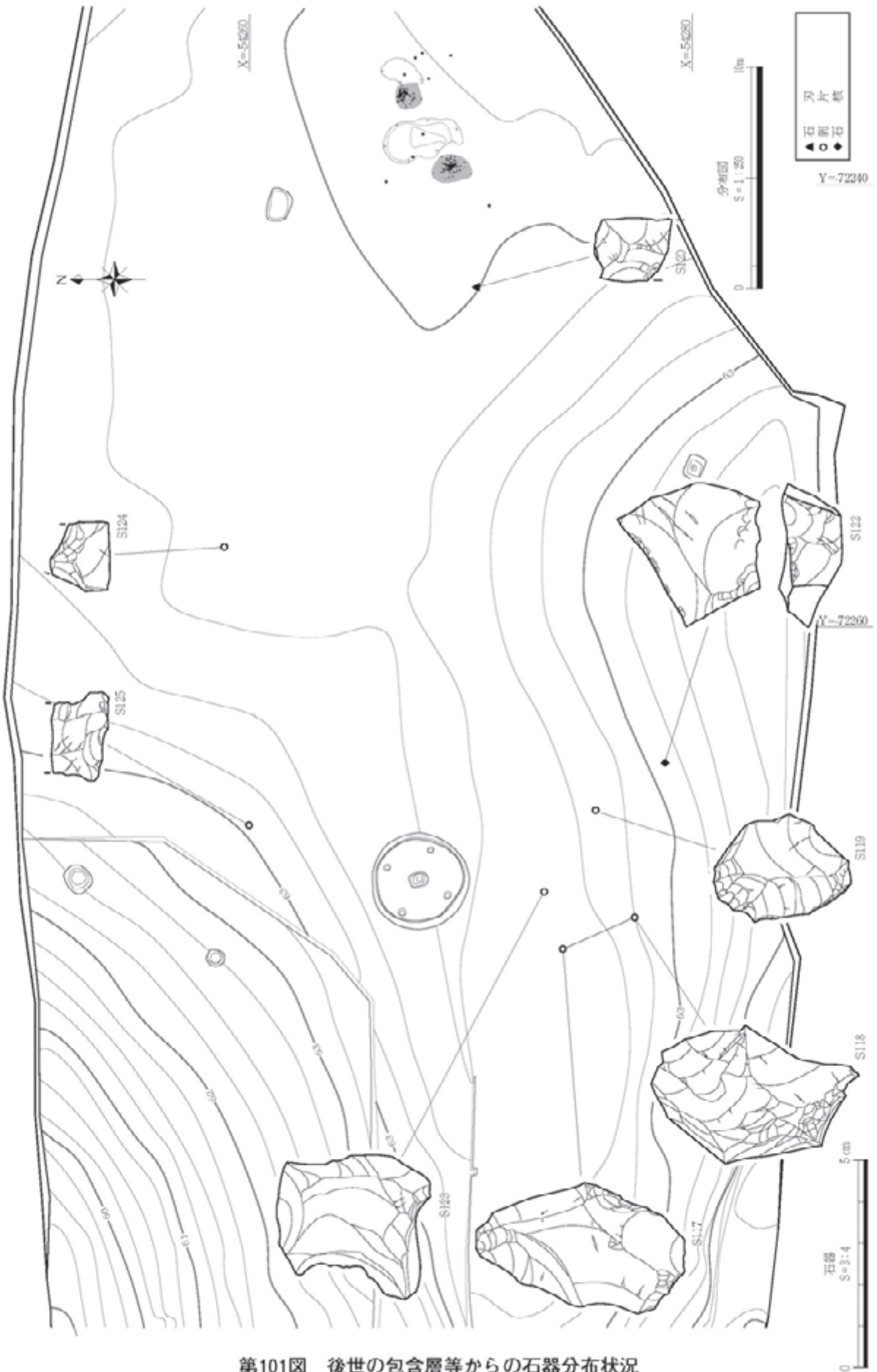
ブロック1の西南西5mの根穴からは、石刃の打面部S120が出土した。緻密な玉髄を石材とし、入念な打面調整を施している。右縁辺が赤化しており、被熱していると考えられる。

G4グリッドを中心とする南斜面部からは、表土から1点、縄文～弥生時代の包含層であるⅢ層から3点、根穴から1点の、計5点の石器が出土している。玉髄製の二次加工ある剥片S117とS119、剥片S118の3点は同一母岩に属し、S117とS118は接合する。S117が目的剥片でS118が打面再生剥片のようである。玉髄製石核S122は、大型の剥片を素材に、折れ面から小さな剥片を取ったもの。安山岩製剥片S123は、求心的に剥離が行われた作業面から取られたと思われ、風化が進んでいる。1組の接合資料が含まれるものの、慎重な調査にもかかわらず碎片も小型の剥片も出土しなかったもので、これらはいずれも剥片あるいは石核として持ち込まれたものと考えられる。以上5点は石材や技術等からみて旧石器時代のもので、上述のように、剥片S114と同一グループに属していたと推定される。S114が、弥生時代後期後葉の堅穴住居跡SI1の縁近くで出土したことから、その他の石器は、SI1の掘削によって掘り出されたものかもしれない。

調査地の北部からは2点の剥片が出土している。剥片末端部S124は安山岩製で、根穴から出土した。剥片末端部S125も安山岩製で、ソフトロームから出土した唯一の資料である。斜面部での出土なので、尾根上の白色ローム層から転落した可能性も否定できない。



第100図 後世の包含層等からの出土石器



第101図 後世の包含層等からの石器分布状況

7 考察

以上に述べた調査成果に基づき、豊成叶林遺跡の構造と形成過程や、遺跡を遺した人々の行動など、さまざまな問題について考察を行ってみたい。

(1)ブロック1の構造(第102図)

ブロック1の構造は比較的単純である。剥離の座は1つで、ブロックの中央付近にある。座の内外の微細剥離物の分布状況から考えると、割り手は、座の東側に、西向きに座って作業していたであろう。比較的大きめの剥離物が散漫に分布するブロックの北部は、割ったばかりの剥片の中から有用な剥片を取り分けて置いた、一次選別の場と推定される。

その内容構成から、一人の割り手が、短時間の便宜的な剥片剥離作業と、少数のナイフ形石器の製作を行った、石器製作跡であると結論される。

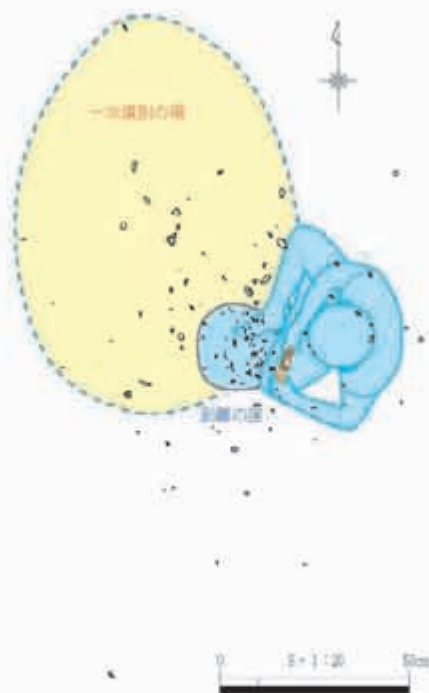
(2)ブロック2の構造と人間行動(第103・104図)

ブロック2は、ブロック1と比較してかなり複雑な構造をもつ。

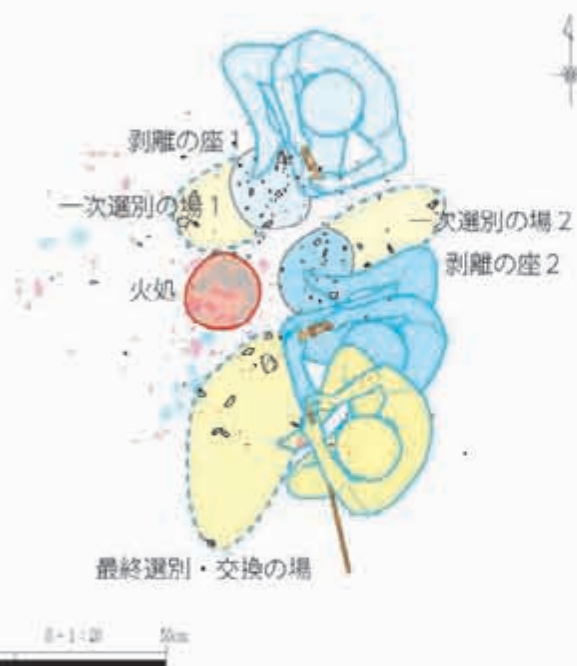
基本的な構造として、中央に火処があり、それを囲むように、異なる機能の場が配置される。

剥離の座は2つある。北側の座1の西側には、ブロック1と同様に、遺物が散漫に分布する範囲があり、剥片S71やナイフ形石器S94などの有用な生産物が含まれるので、座1の一次選別の場と推定される。このことから、割り手の姿勢は、座1の北側に南を向いて座っていたと考えられる。南側の座2の東側には、同様に、石刃S86やナイフ形石器S69などが分布する一次選別の場が付属する。割り手は座の南側に北を向いて座っていたと推定される。

座2の南方には、完成品や有用な剥離物がまとまっている部分があり、ナイフ形石器6本や石核1個などが分布する。このうちナイフ形石器S103とS109は、それぞれ母岩4とは明らかに別の石で、



第102図 ブロック1の構造

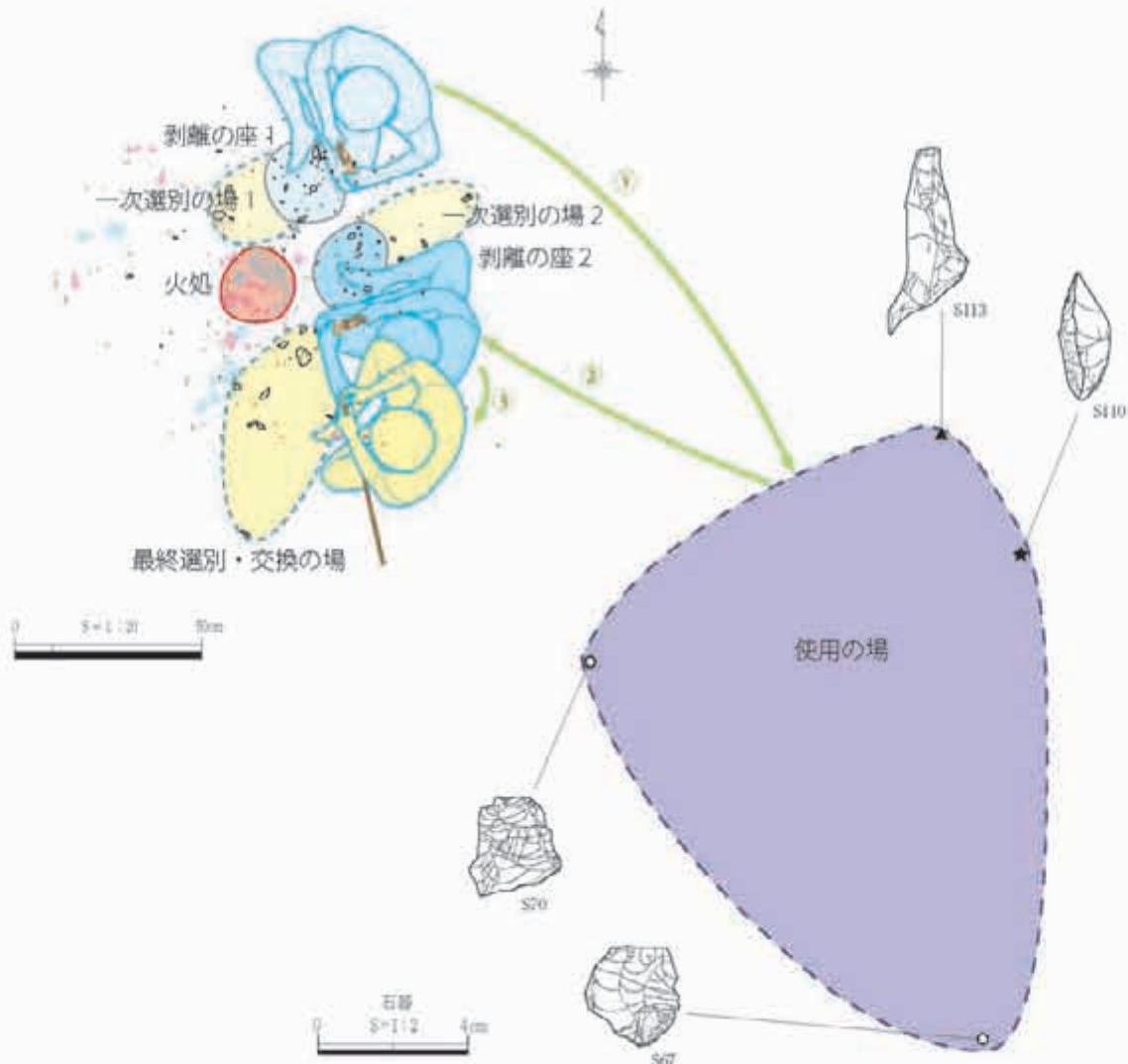


第103図 ブロック2の構造

完成品として搬入されたものであり、S103は先端と背部が再形成されている。以上から、ここは、古くなったナイフ形石器を新品に取り替える作業や、旅装に加える剥離物を選ぶ作業が行われた、最終選別・交換の場と考えられる。わずか1.1mの小さなブロックでも、詳細に調査すれば、さまざまな機能をもつ部分で成り立つ、複雑な構造をもっていることがわかる。

ブロックの構造と接合資料の読み取りとを組み合わせると、次のような点が注目される。座1の内外には、母岩4の段階1と2の剥離物が目立って認められる一方、座2の近くには段階3のものが多くある。段階4の剥離物は座1の西側にかたまる。また、ブロック2から東南に約1m離れた場所に、4点の剥片と石器が分布する範囲がある。別母岩のナイフ形石器S110以外は母岩4の段階1と2の生産物である。ここは石器を使用した場所の可能性がある。

以上から、ブロック2を遺した人物の行動は次のように推定される(第104図)。まず、座1で、目的に達するだけの石刃とナイフ形石器を製作する。石核縁部を潰して作業が行き詰ったところで、一旦中断して、いくらかの剥片を持って、使用の場に行く。その後、座2で剥片剥離作業を再開する。



第104図 ブロック2の行動復元

しかし、有用な剥片はほとんど取れない。石核が小さくなって保持が難しくなったことが主な原因である。なお、最終盤の剥片剥離は、座2を離れて座1の近くで行っている可能性がある。最後に、最終選別・交換の場に移って、槍先を2つ交換する。炭化物が、剥離の座にはほとんどなく、火処と交換の場にあることから、火は交換作業に必要なだったのかもしれない。せっかく作った石器だが、最終選別の場に欠点のある4点は置いていく。石核もこの中にあることを見ると、持って行くかどうか最後まで悩んだものと思われる。

### (3) ブロックの関係と遺跡の形成過程

ブロック1とブロック2の間には、接合関係も明らかな母岩の共有関係も認められない。両者の関係は、さまざまな状況証拠に基づいて考えることになる。

ブロック1で主に行われた作業は、母岩1を部分的に消費して、不整形な剥片と小石刃を一定量生産することと、主に剥片を素材におそらく少数のナイフ形石器を製作することである。その性格は多分に便宜的なものとして評価できよう。ナイフ形石器はすべて搬出されており、剥片にも使用の痕跡が乏しいことから、遺跡外での使用を前提とした製作であったと考えられる。石器の数が少ないことから、日常的な活動の範囲を大きく出ないものであると見なされる。石材が良質で母岩4のように小さくないにもかかわらず、効果的に石刃を生産することをしない。また、剥片の多くが薄く剥離時に折れていることから、割り手の技量はあまり高くないと評価される。

ブロック2で行われた作業は、母岩4を完全に消費して、多くの石刃とナイフ形石器を製作することと、搬入したナイフ形石器を新たに製作したものと交換することである。その過程で、生産した剥片を一部使用したり火を焚いたり、ブロック内外である程度の時間を費やしていると考えられる。また、余剰を残すほどナイフ形石器を製作し、慎重な最終選別を行っていることから、比較的長距離の移動を念頭に置いている可能性がある。加えて、母岩4の接合資料の読み取りから分かるように、割り手の技量は非常に高い。

以上から、ブロックの形成順はブロック1が先であると推定される。ブロック1が先行していれば、ブロック2には石器が多く遺されている一方で、ブロック1では石器がすべて消費し尽くされていることが理解しやすい。さらに、ブロック間で生産物の移動がないことも、技量の劣る割り手から優れた割り手へは譲渡が行われにくいということから理解できる。技量の劣る割り手が、日常的な狩猟等の活動に用いる石器をブロック1で少量製作し、遺跡外で使用し尽くした後に、長距離の移動に備えた旅装の準備のために、熟練した別の割り手によってブロック2が形成されたというのが、本遺跡の形成過程であったと考えられる。2つのブロックは、規模と近接の具合、さらには石材の質及び量的な類似性から考えて、それほど時間をおかずに設けられたであろう。想像を逞しくすれば、そこには一組の親子が関与しているように思われる。日常の活動では息子が、よりリスクが高く管理が求められる長距離移動のためには父親がというように、石器作りにも時と場合に応じて役割分担があったのかもしれない。

### (4) 2つの原産地と遊動生活(第105図)

豊成叶林遺跡は非常に小規模でシンプルな遺跡である。そのおかげで、遺跡を遺した集団の、遺跡にいたるまでの行動も、雑音なく読み取れる可能性がある。特に、玉髄と黒曜石という2つの異なる



石材の消費のあり方から、後期旧石器時代前半期の当地域における集団の行動様式や活動領域について、1つのモデルが提示できるであろう。

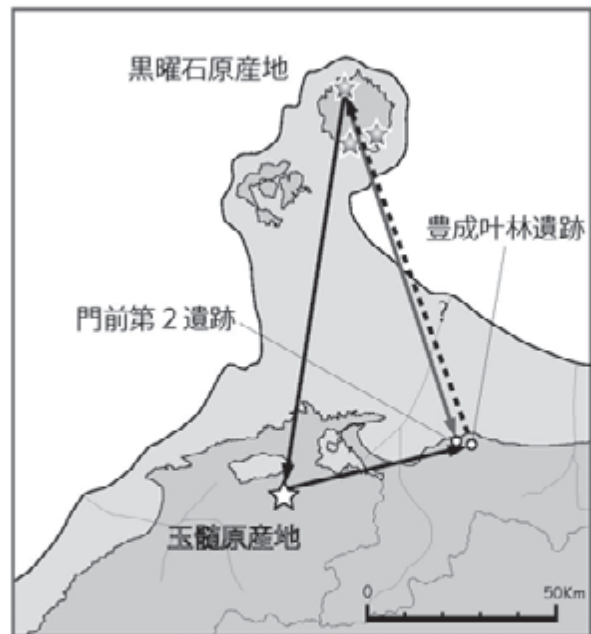
1点だけ出土した黒曜石製ナイフ形石器は、豊成叶林遺跡からは約90km北方に位置する隠岐産の石材である。刃部に相当の痛みが見られることから、長い間持ち運んで使用したものであろう。それ以外の石材はすべて玉髓で、松江市玉湯町の花仙山周辺が原産地と推定される。遺跡からは西方に約50kmの距離がある。以上から、遺跡を遺した集団は、隠岐から花仙山を経て遺跡に来た可能性が高い。

豊成叶林遺跡に製品として持ち込まれたナイフ形石器4点は、それぞれ別の母岩で作られているので、花仙山から遺跡までの間に少なくとも4個の石が割られていることになる。これに遺跡で主に消費

した2個の石を加え、ブロック3(3母岩)の存在を考慮したとしても、花仙山で入手した石は、遺跡までの分として10個前後と見積もられる。確率の問題はあるが、隠岐の黒曜石がまだ残っていたことを考えると、個数が大きく増えることはないだろう。それを、少しずつ消費しながら、50kmの道のりを進んだと考えられる。もちろん、遺跡から先の分は未知数であるが、難しい形状をした小さな母岩4から、多数のナイフ形石器を製作していることからすると、もうあまり余裕はなかったかもしれない。興味深い点は、50km程度の距離であれば、他の原産地から石材を補充することなく、1種類の石材に頼って移動できてしまうことと、その間に作られたナイフ形石器の大きさに特に変化が見られないことである。

一方、隠岐から直接大山山麓に来た例としては、大山町門前第2遺跡の例がある。門前第2遺跡は、豊成叶林遺跡とほぼ同時期の遺跡で、西方約5kmに所在する。試掘調査によってブロックの一部が確認されているのみではあるが、出土した128点の石器はすべて黒曜石製で、ナイフ形石器や石刃と小石刃などで構成される。ナイフ形石器は長さ2cm程度の小型のものが多く、この例からは、同時代の同じ地域でも、異なる経路の遊動パターンもあることが知られる。さらに、移動距離が90kmにのびても、1つの原産地の石材だけで移動が可能であることがわかる。ところで、門前第2遺跡の石器群には、豊成叶林遺跡のものと比較して、石器の小型化と石材の吝嗇的な消費が認められるように思われる。これが正しければ、1箇所の原産地のみに依存するのは100km程度が限界であることを示しているのかもしれない。

豊成叶林遺跡からの移動先は不明であるが、長距離移動を想定していたとすれば、再び隠岐に向かった可能性があると思われる。門前第2遺跡の集団とは、逆方向の移動ということになる。いずれにせよ、豊成叶林遺跡の集団が、隠岐と花仙山という2つの質的に異なる石材産地を組み込みながら、長距離の遊動生活を行っていたことは確かである。当地域に広がっていた大山北麓と古隠岐平原は、地形的に障壁が少なく、水も豊富で、動物にとっても、それを追う狩猟採集民の集団にとっても、格好の生活場所であったであろう。黒曜石原産地と玉髓原産地を効果的に経由しながら、大山北麓と古隠



第105図 石器原産地と活動領域

第5章 豊成叶林遺跡の調査

岐平原を活動領域として巡回する行動様式が、後期旧石器時代の前半期には存在した可能性があることを、豊成叶林遺跡の発掘調査成果からは考えることができる。

参考文献

- 名和町教育委員会 2005「名和町内遺跡発掘調査報告書」名和町文化財発掘調査報告書第34集  
町田洋・新井房夫 2011「新編 火山灰アトラス」東京大学出版会

表41 旧石器一覧表

掲載番号	ブロック	遺物番号	押印番号	PL番号	母岩	個体	接合類	型式	部位	長さmm	幅mm	厚mm	重量g	X座標	Y座標	Z座標	備考
S1	1	188	82	57	1	1	1	付随剥片	a	5.8	6.3	2.4	0.06	-54269.069	-72238.927	64.140	
S2	1	333	82	57	1	1	2	砕片	md	11.5	6.0	1.5	0.08	-54269.193	-72239.248	64.116	
S3	1	389	82	57	1	1	3	剥片	m	15.7	13.7	1.8	0.53	-54268.980	-72239.247	64.079	
S4	1	345	82	57	1	1	4	剥片	p	17.8	22.4	4.3	1.31	-54268.738	-72239.520	64.107	
S5	1	183	82	57	1	1	5	剥片	md	33.9	30.2	5.4	4.37	-54268.853	-72239.162	64.128	
S6	1	256	82	57	1	1	6	付随剥片	a	8.6	15.8	2.5	0.20	-54268.911	-72239.210	64.120	
S7	1	385	82	57	1	1	7	小石刃	md	26.1	9.6	2.0	0.51	-54268.980	-72239.253	64.082	
S8	1	390	82	57	1	2	1	剥片	md	23.4	17.2	2.7	0.67	-54268.949	-72239.265	64.070	
S9	1	344	82	57	1	2	2	剥片	pm	23.1	20.6	2.9	0.85	-54268.648	-72239.563	64.116	
S10	1	189	82	57	1	2	3	剥片	d	10.6	21.8	1.6	0.36	-54269.109	-72238.927	64.135	
S11	1	388	82	57	1	2	4	剥片	m	11.7	12.7	1.8	0.26	-54269.173	-72239.296	64.060	
S12	1	204	82	57	1	2	5	剥片	d	29.5	26.9	1.8	1.11	-54269.039	-72239.125	64.130	
S13	1	386	83	57	1	3	1	付随剥片	a	11.3	8.8	1.5	0.12	-54268.965	-72239.235	64.091	
S14	1	180	83	57	1	3	2	剥片	d	12.1	11.0	1.9	0.19	-54268.736	-72239.410	64.139	
S15	p	428	83	57	1	3	3	剥片	a	36.0	36.0	7.8	6.79	-54267.835	-72237.837	63.425	
S16	1	349	83	57	1	4	1	剥片	a	12.8	11.2	1.8	0.19	-54268.665	-72239.326	64.116	
S17	1	184	83	57	1	4	2	剥片	a	11.6	15.2	1.2	0.15	-54268.673	-72238.862	64.119	
S18	1	186	83	57	1	4	3	剥片	a	16.0	17.9	1.3	0.34	-54268.994	-72239.033	64.150	
S19	1	179	83	57	1	4	4	剥片	pm	17.0	13.8	2.5	0.51	-54269.250	-72239.570	64.131	
S20	1	200	83	57	1	4	5	剥片	d	17.1	10.8	1.6	0.14	-54269.058	-72239.233	64.137	
S21	1	195	83	57	1	5	1	小石刃	p	7.4	7.7	1.4	0.08	-54269.201	-72239.230	64.140	
S22	1	185	83	57	1	5	2	小石刃	m	11.3	8.4	1.6	0.15	-54268.937	-72238.929	64.128	
S23	1	382	83	57	1	5	3	小石刃	d	10.3	12.2	2.3	0.20	-54269.182	-72239.185	64.093	
S24	1	248	83	57	1	6	1	小石刃	p	6.3	6.5	1.7	0.08	-54269.076	-72239.247	64.128	
S25	1	126	83	57	1	6	2	小石刃	md	19.3	8.6	2.2	0.25	-54269.019	-72239.229	64.150	
S26	1	254	83	57	1	7	1	砕片	a	10.6	3.8	4.3	0.18	-54269.021	-72239.402	64.125	
S27	1	182	83	57	1	7	2	付随剥片	a	17.7	8.8	4.8	0.66	-54268.719	-72239.162	64.129	
S28	1	332	83	57	1	8	1	剥片	r	8.9	5.1	2.0	0.04	-54269.166	-72239.214	64.116	
S29	1	348	83	57	1	8	2	剥片	r	17.0	11.0	4.0	0.63	-54268.965	-72239.417	64.110	
S30	1	355	83	57	1	9	1	剥片	d	5.3	10.4	0.9	0.05	-54269.239	-72239.176	64.108	
S31	1	192	83	57	1	9	2	剥片	m	8.8	11.1	1.4	0.14	-54269.397	-72239.288	64.130	
S32	1	375	84	58	1			小石刃	p	9.7	9.7	2.6	0.25	-54268.879	-72239.370	64.096	微細割難有
S33	1	175	84	58	1			小石刃	a	20.0	11.0	1.9	0.22	-54268.285	-72239.576	64.136	
S34	1	328	84	58	1			小石刃	md	27.3	10.0	2.5	0.51	-54269.221	-72239.536	64.120	
S35	1	337	84	58	1			小石刃	p	15.4	11.3	2.0	0.38	-54269.098	-72239.432	64.114	
S36	1	181	84	58	1			剥片	ml	18.6	16.8	1.8	0.40	-54268.846	-72239.454	64.131	
S37	1	359	84	58	1			剥片	pm	17.2	14.6	4.9	0.60	-54269.174	-72239.224	64.110	
S38	1	177	84	58	1			剥片	pm	15.0	14.6	2.5	0.41	-54268.806	-72239.582	64.137	
S39	1	190	84	58	1			剥片	a	15.2	10.3	3.2	0.56	-54269.110	-72238.796	64.138	
S40	1	187	84	58	1			剥片	p	11.4	8.4	2.3	0.19	-54269.040	-72238.962	64.142	
S41	1	383	84	58	1			剥片	p	11.0	13.3	3.5	0.42	-54269.092	-72239.101	64.076	
S42	1	178	84	58	1			剥片	pm	9.1	6.4	1.8	0.09	-54269.038	-72239.538	64.135	
S43	1	194	84		1			剥片	p	5.5	9.2	1.0	0.04	-54269.215	-72239.294	64.139	
S44	1	334	84	58	1			剥片	l	12.8	8.2	3.7	0.33	-54269.009	-72239.229	64.118	
S45	1	346	84	58	1			剥片	d	17.9	19.8	6.8	1.82	-54268.770	-72239.441	64.096	
S46	1	330	84	58	1			剥片	d	11.9	16.1	4.2	0.64	-54268.907	-72239.017	64.118	
S47	1	127	84	58	1			剥片	d	20.0	18.4	5.8	1.68	-54269.514	-72239.258	64.140	
S48	1	199	84	58	1			剥片	d	9.5	10.5	1.2	0.07	-54269.151	-72239.336	64.134	
S49	1	347	84	58	1			付随剥片	md	12.6	12.3	1.2	0.17	-54268.809	-72239.437	64.116	
S50	1	342	84	58	1			燧部折片	a	6.3	19.4	3.7	0.41	-54269.992	-72239.615	64.084	
S51	1	335	84	58	1			燧部折片	a	4.8	15.9	2.0	0.20	-54268.832	-72239.193	64.112	
S52	1	358	84	58	1			燧部折片	l	3.7	8.3	1.4	0.06	-54269.131	-72239.215	64.106	
S53	1	277	84	58	1			燧部折片	a	3.8	9.3	2.9	0.07	-54269.111	-72239.287	64.122	
S54	1	357	84	58	1			燧部折片	a	9.7	9.4	2.7	0.19	-54269.193	-72239.254	64.106	基部
S55	1	246	84	58	1			bチップ	a	3.3	7.9	0.9	0.03	-54269.111	-72239.210	64.125	
S56	1	353	84	58	1			bチップ	a	3.4	5.5	1.2	0.01	-54269.305	-72239.231	64.104	
S57	1	377	84	58	1			bチップ	ml	3.5	4.5	1.2	0.02	-54269.168	-72239.254	64.099	

ブロック 0:ブロック外 p:後世の包含層等  
型式 剥片(二次):二次加工ある剥片 bチップ:プランティングチップ  
部位 a:完全 p:打面部片 m:中央部片 d:末端部片 r:右片 l:左片

第3節 旧石器時代の調査

掲載 番号	ブロック	遺物 番号	押印 番号	PL 番号	母岩	備 考	採合順	型式	部位	長 mm	幅 mm	厚 mm	重量 g	X座標	Y座標	Z座標	備考
	1	130			1			砕片	a	8.9	8.4	2.1	0.05	-54268.925	-72239.435	64.132	
	1	134			1			bチップ	a	1.7	4.9	0.5	0.00	-54268.858	-72239.233	64.127	
	1	135			1			砕片	a	2.2	2.7	0.3	0.00	-54268.809	-72239.176	64.124	
	1	136			1			bチップ	a	2.2	4.5	0.8	0.01	-54269.180	-72239.238	64.136	
	1	137			1			砕片	a	3.4	3.0	0.9	0.01	-54269.094	-72239.226	64.137	
	1	138			1			bチップ	a	2.0	3.0	0.3	0.00	-54269.075	-72239.267	64.138	
	1	139			1			bチップ	ml	3.4	4.4	0.8	0.00	-54269.336	-72239.347	64.123	
	1	176			1			付随剥片	a	15.5	4.3	0.5	0.04	-54268.841	-72239.845	64.113	
	1	191			1			砕片	l	7.7	5.9	1.9	0.07	-54269.288	-72239.078	64.125	
	1	196			1			bチップ	a	2.5	4.1	1.0	0.00	-54269.200	-72239.280	64.138	
	1	198			1			砕片	r	9.2	6.5	2.1	0.09	-54269.104	-72239.256	64.145	
	1	199			1			砕片	m	3.5	4.4	0.4	0.00	-54269.093	-72239.241	64.141	
	1	201			1			砕片	a	5.9	5.9	0.9	0.02	-54269.128	-72239.428	64.128	
	1	202			1			bチップ	a	3.5	6.1	2.0	0.04	-54269.101	-72239.372	64.135	
	1	203			1			砕片	pm	6.6	6.1	0.4	0.01	-54269.015	-72239.377	64.130	
	1	234			1			砕片	a	3.4	4.4	0.7	0.01	-54269.350	-72239.331	64.115	
	1	236			1			bチップ	a	3.1	4.1	0.6	0.00	-54269.251	-72239.308	64.122	
	1	237			1			砕片	a	2.0	2.9	0.4	0.00	-54269.179	-72239.306	64.125	
	1	238			1			付随剥片	m	5.1	8.2	0.5	0.03	-54269.157	-72239.222	64.128	
	1	239			1			砕片	d	1.8	2.9	0.6	0.00	-54269.136	-72239.313	64.125	
	1	210			1			bチップ	a	1.9	3.3	0.3	0.00	-54269.105	-72239.311	64.129	
	1	241			1			剥片	m	1.6	9.6	1.6	0.00	-54269.146	-72239.243	64.127	
	1	242			1			砕片	a	2.0	2.2	0.3	0.00	-54269.064	-72239.366	64.127	
	1	243			1			砕片	a	2.5	3.4	0.6	0.00	-54269.139	-72239.220	64.125	
	1	244			1			bチップ	a	2.0	2.0	0.3	0.00	-54269.038	-72239.255	64.110	
	1	245			1			砕片	d	4.8	3.1	0.8	0.00	-54269.063	-72239.213	64.120	
	1	247			1			小石刃	d	8.6	3.5	0.8	0.02	-54269.121	-72239.288	64.131	
	1	250			1			砕片	pm	5.4	4.4	1.0	0.01	-54269.498	-72239.451	64.101	
	1	251			1			砕片	a	4.7	6.5	0.9	0.02	-54269.351	-72239.544	64.109	
	1	252			1			層部折片	a	5.9	3.2	2.1	0.04	-54269.012	-72239.769	64.115	
	1	253			1			bチップ	a	2.1	4.5	0.6	0.00	-54269.027	-72239.457	64.126	
	1	257			1			砕片	a	2.4	3.5	0.2	0.00	-54268.884	-72238.941	64.114	
	1	275			1			砕片	l	3.3	3.4	0.9	0.00	-54269.064	-72239.374	64.112	
	1	276			1			砕片	md	5.8	3.0	0.4	0.01	-54269.181	-72239.367	64.118	
	1	278			1			砕片	a	4.5	6.8	2.4	0.06	-54269.039	-72239.266	64.121	
	1	279			1			砕片	a	4.9	4.8	2.3	0.03	-54269.085	-72239.259	64.118	
	1	280			1			砕片	r	2.5	2.1	0.4	0.00	-54269.123	-72239.237	64.122	
	1	281			1			砕片	a	7.9	3.7	0.8	0.02	-54269.110	-72239.205	64.120	
	1	283			1			砕片	m	2.5	4.7	0.5	0.00	-54269.175	-72239.234	64.118	
	1	284			1			付随剥片	a	2.2	5.4	1.0	0.00	-54269.207	-72239.221	64.120	
	1	285			1			bチップ	a	2.4	4.0	0.9	0.00	-54269.219	-72239.286	64.116	
	1	286			1			砕片	pm	5.8	4.4	0.7	0.02	-54269.123	-72239.090	64.110	
	1	287			1			bチップ	a	2.8	4.6	0.6	0.00	-54268.908	-72239.207	64.112	
	1	331			1			層部折片	a	7.5	4.4	1.6	0.05	-54269.145	-72239.206	64.124	
	1	336			1			砕片	a	7.4	6.2	1.3	0.03	-54269.084	-72239.454	64.120	
	1	338			1			bチップ	a	2.5	7.2	1.0	0.01	-54269.056	-72239.215	64.114	
	1	339			1			砕片	a	4.6	8.4	1.1	0.03	-54269.092	-72239.236	64.112	
	1	340			1			bチップ	a	2.5	5.3	1.8	0.01	-54269.108	-72239.243	64.110	
	1	343			1			付随剥片	a	7.3	7.7	2.0	0.09	-54269.694	-72239.335	64.104	
	1	351			1			砕片	a	6.3	4.8	1.7	0.03	-54269.282	-72238.998	64.104	
	1	352			1			層部折片	a	3.4	6.7	0.8	0.04	-54269.273	-72238.849	64.102	
	1	354			1			砕片	a	4.5	4.7	1.7	0.02	-54269.257	-72239.169	64.104	
	1	356			1			bチップ	a	2.5	4.1	0.6	0.00	-54269.225	-72239.267		
	1	360			1			砕片	d	1.4	2.8	0.6	0.00	-54269.156	-72239.243	64.112	
	1	361			1			砕片	a	7.6	3.6	1.0	0.03	-54269.048	-72239.243	64.110	
	1	362			1			砕片	a	3.0	5.8	1.1	0.01	-54269.061	-72239.281	64.112	
	1	363			1			砕片	md	6.5	4.0	0.8	0.02	-54269.024	-72239.301	64.112	
	1	364			1			砕片	a	8.6	9.1	2.8	0.20	-54269.155	-72239.310	64.106	
	1	368			1			bチップ	l	3.1	3.2	1.3	0.01	-54269.372	-72239.076	64.104	
	1	369			1			砕片	a	6.4	3.0	1.1	0.01	-54269.228	-72239.000	64.103	
	1	370			1			砕片	l	5.5	2.8	0.9	0.00	-54269.144	-72239.077	64.101	
	1	372			1			砕片	r	4.3	1.6	0.8	0.00	-54269.082	-72239.261	64.105	
	1	373			1			小石刃	a	2.3	6.6	0.7	0.00	-54269.144	-72239.239	64.102	
	1	374			1			砕片	a	6.7	4.7	1.3	0.03	-54268.949	-72239.311	64.102	
	1	376			1			bチップ	a	1.9	2.8	0.4	0.00	-54269.034	-72239.292	64.104	
	1	380			1			bチップ	a	3.1	6.4	1.1	0.02	-54269.037	-72239.320	64.087	
	1	381			1			砕片	d	1.7	3.3	0.4	0.00	-54269.135	-72239.222	64.093	
	1	384			1			付随剥片	a	12.9	7.6	2.5	0.12	-54268.942	-72239.317	64.068	
	1	387			1			砕片	a	6.4	7.2	2.1	0.08	-54269.080	-72238.836	64.098	
	1	421			1			砕片	a	4.6	4.2	0.8	0.01	-54269.111	-72239.614	64.106	
	1	422			1			bチップ	a	2.6	3.9	0.5	0.00	-54269.043	-72239.212	64.108	
	1	423			1			砕片	ml	3.9	7.8	1.9	0.05	-54269.185	-72239.298	64.106	
	1	424			1			bチップ	d	2.4	7.0	1.7	0.03	-54269.122	-72239.247	64.110	
	1	425			1			砕片	d	2.4	2.0	0.2	0.00	-54269.504	-72239.476	64.102	

ブロック 0:ブロック外 p:後世の包含層等  
 型式 剥片(二次):二次加工ある剥片 bチップ:ブランディングチップ  
 部位 a:完全 p:打面部片 m:中央部片 d:末端部片 r:右片 l:左片

第5章 豊成叶林遺跡の調査

掲載番号	ブロック	遺物番号	押印番号	PL番号	母岩	個体	採合順	型式	部位	長さmm	幅mm	厚mm	重量g	X座標	Y座標	Z座標	備考
	1	426			1			砕片	a	2.2	1.3	0.2	0.00				
S58	1	329	85	58	2	1	1	折片	a	12.5	26.3	5.6	1.53	-54268.836	-72239.456	64.120	
S59	1	193	85	58	2	1	2	剥片	pm	8.4	14.4	5.0	0.52	-54269.685	-72239.130		
S60	1	249	85	58	2	1	3	剥片	d	3.1	7.7	3.6	0.07	-54269.292	-72239.188	64.124	
S61	1	255	85	58	2	1	4	剥片	ml	9.4	6.8	5.1	0.28	-54268.976	-72239.456	64.124	
S62	1	378	85	58	2	1	5	剥片	r	7.4	6.5	2.1	0.12	-54269.184	-72239.193	64.098	
S63	1	327	85	58	2	2	1	剥片	rm	17.8	7.2	3.4	0.34	-54269.280	-72239.228	64.121	
S64	1	379	85	58	2	2	2	剥片	l	5.9	4.3	1.9	0.03	-54269.148	-72239.314	64.088	
	1	235			2			砕片	a	8.1	4.8	1.4	0.05	-54269.345	-72239.194	64.111	
	1	282			2			砕片	a	2.7	2.2	0.4	0.00	-54269.144	-72239.232	64.118	
	1	341			2			砕片	a	2.0	2.0	0.3	0.00	-54269.214	-72239.538	64.118	
	1	371			2			剥片	a	5.8	6.8	2.0	0.07	-54269.143	-72239.185	64.101	
	1	350			3			砕片	mt	5.5	3.2	1.2	0.01	-54269.180	-72239.741	64.106	
	1	366			3			砕片	a	6.4	10.8	1.0	0.11	-54269.380	-72239.466	64.099	
S65	2	303	91	60	4	1	1	目的剥片	pm	15.1	16.8	3.0	0.60	-54266.958	-72235.964	64.180	
S66	2	419	91	60	4	1	2	目的剥片	d	11.9	12.6	1.8	0.14	-54266.963	-72236.433	64.128	
S67	0	143	91	60	4	1	3	目的剥片(二次)	a	26.5	25.0	5.0	3.06	-54269.096	-72234.279	64.284	
S68	2	229	91	60	4	1	4	付随剥片	a	54.7	28.6	19.0	16.34	-54266.738	-72239.319	64.168	
S69	2	219	91	60	4	1	5	ナイフ形石器	a	27.1	14.6	4.1	1.12	-54266.977	-72235.772	64.198	
S70	0	430	92	60	4	1	6	目的剥片	a	27.6	24.3	6.5	3.01	-54268.095	-72235.330	61.220	
S71	2	407	92	60	4	1	7	調整剥片	a	28.3	23.9	5.2	2.99	-54266.905	-72236.319	61.144	
S72	2	414	92	60	4	1	8	砕片	a	6.4	14.4	2.1	0.18	-54266.867	-72236.150	64.145	
S73	2	212	93	60	4	1	9	石刃	p	16.0	17.4	3.0	1.09	-54266.830	-72236.067	64.195	
S74	2	220	93	60	4	1	10	剥片	pm	6.8	5.0	0.8	0.03	-54266.972	-72235.892	64.198	
S75	p	144	93	60	4	1	11	調整剥片	p	16.2	14.8	3.5	0.76	-54267.000	-72235.146	64.054	
S76	2	405	93	60	4	1	12	付随剥片	a	9.2	9.4	1.9	0.14	-54267.209	-72236.060	64.185	
S77	2	304	93	60	4	1	13	調整剥片	a	19.1	26.7	3.3	1.40	-54266.984	-72235.944	64.186	
S78	2	395	93	60	4	1	14	石刃	p	14.7	18.8	2.9	0.85	-54266.887	-72236.112	64.163	
S79	2	128	93	60	4	1	15	石刃	md	35.8	22.0	8.0	3.26	-54267.439	-72236.022	64.256	
S80	2	410	93	60	4	1	16	目的剥片	md	11.4	10.3	3.3	0.37	-54266.966	-72235.852	64.169	
S81	2	225	93	60	4	1	17	目的剥片	a	8.8	11.5	2.8	0.34	-54267.250	-72236.470	64.188	
S82	2	224	93	60	4	1	18	調整剥片	md	12.3	10.7	1.1	0.13	-54267.018	-72235.833	64.207	
S83	2	223	93	60	4	1	19	付随剥片	a	3.8	5.4	0.6	0.00	-54267.109	-72236.774	64.210	
S84	2	311	93	60	4	1	20	目的剥片	a	8.9	19.3	2.2	0.38	-54266.909	-72236.281	64.156	
S85	2	207	93	60	4	1	21	目的剥片	md	13.7	19.5	3.9	0.75	-54266.754	-72236.169	64.168	
S86	2	215	93	60	4	1	22	石刃	a	26.3	17.0	4.1	1.42	-54266.857	-72235.657	64.210	
S87	2	418	94	60	4	1	23	付随剥片	a	7.1	5.1	1.1	0.03	-54266.929	-72236.238	64.134	
S88	2	305	94	60	4	1	24	目的剥片	md	19.9	15.5	2.3	0.71	-54267.098	-72235.921	64.192	
S89	2	317	94	60	4	1	25	目的剥片	a	13.7	11.9	1.8	0.21	-54266.830	-72236.290	64.180	
S90	2	412	94	60	4	1	26	目的剥片	a	14.9	17.4	1.6	0.48	-54267.064	-72236.595	64.139	
S91	2	206	94	60	4	1	27	調整剥片	a	10.6	11.4	1.7	0.18	-54266.731	-72236.319	64.156	
S92	2	323	94	60	4	1	28	目的剥片	rm	18.9	18.1	1.8	0.46	-54267.359	-72236.269	64.192	
S93	2	307	94	60	4	1	29	石核	a	40.4	52.6	29.8	70.16	-54267.277	-72236.093	64.188	
S94	2	214	95	巻頭	4			ナイフ形石器	a	29.6	14.8	4.3	1.87	-54266.910	-72236.065	64.176	
S95	2	228	95	巻頭	4			ナイフ形石器	a	30.8	13.0	3.1	1.26	-54267.456	-72236.230	64.233	
S96	2	403	95	巻頭	4			ナイフ形石器	a	31.0	14.0	4.2	2.14	-54267.379	-72236.195	64.182	
S97	2	404	95	巻頭	4			ナイフ形石器	a	32.7	12.3	3.9	1.77	-54267.246	-72236.146	64.184	
S98	2	130	95	巻頭	4			ナイフ形石器	a	22.6	11.9	2.7	0.78	-54267.206	-72236.091	64.235	
S99	2	211	95		4			bチップ	ml	3.1	9.0	0.8	0.03	-54266.786	-72236.016	64.186	
S100	2	293	95		4			bチップ	a	3.7	6.7	1.7	0.04	-54266.820	-72236.050	64.176	
S101	2	309	95		4			bチップ	a	5.3	8.9	3.0	0.12	-54266.958	-72236.118	64.168	
S102	2	310	95		4			bチップ	a	3.7	5.0	0.8	0.02	-54266.961	-72236.133	64.174	
	2	129			4			砕片	m	9.0	5.0	1.3	0.06	-54267.332	-72236.315	64.223	
	2	131			4			砕片	pm	6.4	3.2	1.7	0.12	-54267.402	-72235.907	64.257	
	2	205			4			bチップ	a	2.9	5.7	2.5	0.01	-54266.712	-72236.344	64.152	
	2	208			4			付随剥片	a	3.8	9.0	0.9	0.03	-54266.799	-72236.148	64.186	
	2	209			4			砕片	d	7.8	6.8	1.1	0.04	-54266.759	-72236.072	64.185	
	2	210			4			bチップ	a	3.1	6.7	0.8	0.03	-54266.750	-72236.041	64.191	
	2	213			4			bチップ	a	3.3	2.4	0.6	0.00	-54266.845	-72236.075	64.194	
	2	216			4			bチップ	a	4.0	5.2	1.2	0.02	-54266.786	-72235.904	64.190	
	2	217			4			砕片	a	7.2	5.6	1.4	0.04	-54266.840	-72235.802	64.195	
	2	218			4			砕片	l	4.7	6.1	1.0	0.02	-54266.927	-72235.779	64.195	
	2	221			4			砕片	d	10.2	6.6	1.4	0.07	-54266.955	-72235.939	64.202	
	2	222			4			砕片	a	2.4	7.6	0.7	0.00	-54267.005	-72235.940	64.208	
	2	258			4			砕片	p	3.6	5.7	0.7	0.00	-54267.015	-72235.945	64.192	
	2	259			4			砕片	pm	5.2	6.5	0.8	0.01	-54266.935	-72235.946	64.182	
	2	260			4			砕片	a	2.1	2.0	0.4	0.00	-54266.892	-72236.008	64.182	
	2	261			4			砕片	d	3.9	1.6	1.0	0.00	-54266.861	-72235.997	64.177	
	2	263			4			砕片	p	2.8	2.7	1.3	0.01	-54266.825	-72235.900	64.181	
	2	264			4			bチップ	a	3.3	3.6	0.6	0.01	-54266.815	-72235.886	64.174	
	2	265			4			砕片	pm	3.3	5.5	1.8	0.02	-54266.795	-72235.780	64.151	
	2	266			4			剥片	d	8.4	8.1	1.7	0.09	-54266.765	-72235.959	64.163	
	2	267			4			砕片	a	7.3	5.0	0.7	0.02	-54266.845	-72236.087	64.172	
	2	268			4			砕片	pm	4.0	4.8	0.8	0.01	-54266.806	-72236.043	64.170	

ブロック 0:ブロック外 p:後世の包含層等  
 型式 剥片(二次):二次加工ある剥片 bチップ:ブランディングチップ  
 部位 a:完全 p:打面部片 m:中央部片 d:末部片 r:右片 l:左片

第3節 旧石器時代の調査

掲載番号	ブロック	遺物番号	押印番号	PL番号	母岩	備 考	採合順	型式	部位	長さmm	幅mm	厚mm	重量g	X座標	Y座標	Z座標	備考
	2	269			4			砕片	pm	4.6	4.6	1.1	0.03	-54266.796	-72236.107	64.167	
	2	270			4			bチップ	a	3.2	3.6	0.4	0.00	-54266.761	-72236.053	64.168	
	2	271			4			剥片	m	7.7	9.6	0.9	0.06	-54266.733	-72236.036	64.164	
	2	272			4			砕片	p	4.6	4.6	1.3	0.03	-54266.696	-72236.192	64.160	
	2	273			4			bチップ	a	2.1	5.9	0.8	0.00	-54266.747	-72236.857	64.160	
	2	288			4			剥片	a	9.2	15.1	1.7	0.20	-54266.825	-72236.140	64.167	
	2	289			4			砕片	a	3.4	3.1	0.3	0.00	-54266.736	-72236.130	64.162	
	2	290			4			砕片	p	2.3	4.1	0.7	0.00	-54266.784	-72236.228	64.156	
	2	291			4			bチップ	mr	3.3	4.2	0.7	0.01	-54266.774	-72236.151	64.164	
	2	292			4			砕片	p	5.0	5.0	1.0	0.02	-54266.750	-72236.032	64.164	
	2	294			4			砕片	a	4.6	4.3	0.6	0.01	-54266.908	-72236.948	64.182	
	2	295			4			砕片	a	2.6	2.4	0.4	0.00	-54266.971	-72236.005	64.186	
	2	296			4			bチップ	a	2.6	3.8	0.5	0.00	-54267.015	-72236.953	64.188	
	2	297			4			砕片	m	4.2	4.6	0.8	0.01	-54267.044	-72236.976	64.192	
	2	298			4			bチップ	a	3.2	2.9	0.5	0.00	-54267.056	-72236.966	64.194	
	2	299			4			bチップ	a	2.0	5.9	1.1	0.01	-54267.081	-72236.997	64.194	
	2	300			4			bチップ	a	3.1	4.3	0.5	0.00	-54267.141	-72236.008	64.200	
	2	301			4			付随剥片	a	2.5	6.3	0.8	0.00	-54267.061	-72236.918	64.192	
	2	306			4			砕片	a	6.7	6.6	1.2	0.05	-54267.113	-72236.968	64.198	
	2	308			4			bチップ	a	3.1	4.6	0.8	0.00	-54266.916	-72236.105	64.166	
	2	312			4			砕片	d	2.3	5.7	0.7	0.00	-54266.913	-72236.410	64.146	
	2	313			4			砕片	a	4.4	4.6	1.0	0.01	-54266.823	-72236.089	64.168	
	2	314			4			砕片	d	4.7	6.3	1.1	0.01	-54266.855	-72236.271	64.150	
	2	315			4			砕片	l	4.8	3.4	0.7	0.01	-54266.771	-72236.057	64.166	
	2	316			4			砕片	a	5.4	6.6	1.7	0.05	-54266.803	-72236.171	64.162	
	2	318			4			付随剥片	a	5.9	7.6	2.2	0.05	-54266.671	-72236.344	64.144	
	2	319			4			bチップ	a	1.9	4.2	0.7	0.00	-54266.645	-72236.146	64.144	
	2	324			4			剥片	d	5.5	5.7	1.4	0.02	-54266.969	-72236.306	64.172	
	2	391			4			砕片	d	2.8	3.2	0.5	0.00	-54266.745	-72236.037	64.157	
	2	392			4			砕片	d	2.2	2.9	0.4	0.00	-54266.781	-72236.042	64.158	
	2	393			4			砕片	mt	3.1	3.8	1.4	0.01	-54266.873	-72236.045	64.166	
	2	394			4			砕片	l	2.9	2.7	0.5	0.00	-54266.863	-72236.099	64.161	
	2	396			4			bチップ	a	3.2	6.2	1.3	0.02	-54267.030	-72236.056	64.177	
	2	397			4			bチップ	a	3.2	4.3	1.0	0.01	-54267.008	-72236.006	64.179	
	2	398			4			bチップ	a	3.3	3.5	0.8	0.01	-54267.009	-72236.999	64.177	
	2	400			4			砕片	r	3.9	2.5	1.0	0.00	-54267.028	-72236.974	64.179	
	2	401			4			bチップ	ml	3.4	3.5	0.7	0.00	-54267.046	-72236.935	64.180	
	2	402			4			付随剥片	r	4.5	7.3	1.1	0.04	-54267.103	-72236.982	64.185	
	2	406			4			砕片	p	6.5	6.4	1.5	0.06	-54266.987	-72236.182	64.183	
	2	408			4			砕片	pm	6.0	5.3	1.4	0.03	-54266.697	-72236.188	64.139	
	2	409			4			砕片	p	6.6	7.3	1.5	0.07	-54267.006	-72236.898	64.174	
S103	2	322	95	61	5			ナイフ形石器	a	25.7	14.8	4.6	2.06	-54267.465	-72236.207	64.214	
S104	2	262	95	61	5			端部折片	a	6.2	5.5	2.3	0.05	-54266.814	-72236.952	64.170	
S105	2	226	95	61	5			bチップ	a	4.1	9.6	1.8	0.06	-54267.283	-72236.128	64.213	
S106	2	420	95	61	5			bチップ	a	4.4	9.9	2.2	0.05	-54266.966	-72236.237	64.129	
S107	2	321	95	61	5			bチップ	a	3.4	5.5	0.9	0.02	-54267.157	-72236.835	64.200	
S108	2	417	95	61	5			bチップ	a	4.1	5.9	1.4	0.03	-54266.931	-72236.129	64.139	
	2	399			5			bチップ	a	2.9	3.4	0.6	0.00	-54267.075	-72236.059	64.183	
	2	413			5			bチップ	pm	3.2	4.4	0.7	0.01	-54267.054	-72236.663	64.144	
	2	415			5			端部折片	r	3.3	4.2	1.5	0.01	-54266.995	-72236.145	64.152	
	2	416			5			砕片	a	4.6	3.8	0.8	0.01	-54266.810	-72236.003	64.134	
S109	2	411	95	巻頭	単			ナイフ形石器	a	28.6	13.7	4.5	1.86	-54267.749	-72236.248	64.205	
	2	227						付随剥片	a	5.6	9.7	1.6	0.06	-54267.516	-72236.575	64.213	母岩1か
S110	0	145	98	61				ナイフ形石器	a	33.6	13.2	5.5	1.94	-54267.806	-72234.182	64.246	ブロック2周辺
S111	0	141	98	61				ナイフ形石器	a	28.1	11.6	4.7	1.41	-54270.833	-72241.061	64.072	ブロック1周辺
S112	0	140	98	61				ナイフ形石器	a	32.9	13.5	4.4	1.90	-54276.302	-72258.755	62.852	黒曜石
S113	0	142	98	61	4			石刃	a	50.6	19.8	8.1	4.17	-54267.490	-72234.389	64.274	ブロック2周辺
S114	0	104	98	61				剥片	a	38.5	22.1	6.0	5.08	-54269.377	-72267.579	63.867	西支尾根上
S115	0	427	98	61				剥片	d	7.1	8.7	1.6	0.05	-54266.183	-72239.978	64.071	ブロック1周辺
S116	0	232	98	61				剥片	l	22.8	11.8	2.0	0.60	-54276.098	-72243.208	63.982	安山岩
S117	p	44	100	62	6	1	1	剥片(二次)	a	50.5	31.7	8.5	12.86	-54273.300	-72271.694	63.989	
S118	p	43	100	62	6	1	2	剥片	a	50.1	32.5	13.3	20.54	-54275.914	-72270.560	63.611	
S119	p	80	100	62	6			剥片(二次)	a	32.9	24.3	6.5	4.61	-54274.512	-72266.678	63.896	
S120	p	114	100	62				石刃	p	18.5	15.3	3.4	1.14				
S121	p	429	100	61				剥片	ml	23.8	12.7	4.3	1.35				
S122	p	82	100	62				石核	a	30.2	30.2	13.3	15.25	-54253.164	-72229.755	63.456	
S123	p	83	100	62				剥片	a	37.4	34.3	7.8	10.76	-54272.636	-72269.634	63.916	安山岩
S124	p	230	100	62				剥片	d	14.4	16.9	3.5	0.69	-54261.081	-72257.190	63.861	
S125	p	231	100	62				剥片	d	13.6	21.1	1.9	0.63	-54261.966	-72267.180	63.665	安山岩

ブロック 0: ブロック外 p: 後世の包含層等

型式 剥片(二次): 二次加工ある剥片 bチップ: ブランディングチップ

部位 a: 完全 p: 打面部片 m: 中央部片 d: 末端部片 r: 右片 l: 左片